

授業科目 運動傷害対応論実習

【担当教員名】 大森 豪	対象学年	4	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	◎
【概要・一般目標：G10】 アスレティックトレーナーを目指して、運動により発生する障害の評価、診断を理解し、スポーツ復帰への介助法を習得する。				
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 上肢、下肢、体幹のスポーツ外傷・障害についての診断方法、画像診断、徒手検査法を理解する。 2. スポーツ障害発生時の対応、スポーツ復帰への補助手段を理解する。 3. 対象者の機能評価からアスレティックリハビリテーションメニューを立案する。 4. 対象者にアスレティックリハビリテーションメニューを実践する。				
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	アスレティックリハビリテーションの考え方			
2	運動療法の基礎知識			
3	運動療法の基礎知識 関節可動域、神経筋協調性回復エクササイズ			
4	運動療法の基礎知識 全身持久力回復、身体組成管理のエクササイズ			
5	物理療法の基礎知識（1）物理療法の基礎、使用法、適応について			
6	物理療法の基礎知識（2）物理療法の紹介			
7	補装具の使用に関する基礎知識			
8	下肢スポーツ外傷・障害の診断方法			
9	上肢スポーツ外傷・障害の診断方法			
10	体幹スポーツ外傷・障害の診断方法			
11	アスレティックリハビリテーションの実際（1）初期におけるプログラム立案			
12	アスレティックリハビリテーションの実際（2）初期プログラムの実践			
13	アスレティックリハビリテーションの実際（3）後期におけるメニュー立案			
14	アスレティックリハビリテーションの実際（4）後期プログラムの実践			
15	まとめ			
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書		公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト(7)		日本体育協会
その他の資料				
【評価方法】 レポートもしくは試験実施予定		【履修上の留意点】		